

自動車整備部門 総合賞

課題と向き合い
プログラミング

エンジン故障探求中

育友会と生徒との懇談会 話しやすい雰囲気で 楽しく語らう

一年生な日々

帰り道編

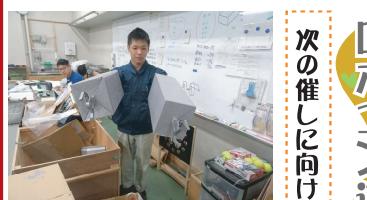
てふ五生!!!

パート④

～風流…?～



*遅くまで頑張ったからこそ。



▲「長工ロボ」製作中

ロボコン道 シリーズ

次回の「長工ロボ」製作中

秋のロボコン研究部は、さまざまな「ものづくり」に取り組んでいます。機械制作、文化祭に向けては、定期的に観光通りで開催される「長工ロボ」がデモンストレーションに出場する機会です。日々の活動報告をお届けします。

(M2玉置)

忙しい日々の中、日々の成長を送りたいと思います。日々の成長を伝えたいため、とても大切にしています。

後編集

特に大きな変化を感じました。二学年長工研究部がついに本格的に動き始めました。今回の開催により、新たな発見や感動をたくさん得ることができました。

本当に嬉しい成長です。

(林田)

高校生もののづくりコンテスト九州大会 三部門にて最優秀賞受賞

**最優秀賞
レベルUP
電子回路組立**

七月六日、七日の二日間、「高校生もののづくりコンテスト九州大会」が沖縄県で開催されました。本校からは四名の選手が出場し、三部門で最優秀賞を受賞。二部門が全国大会への出場権を獲得しました。

浦添工業学校で行われた電子回路組立部門。本校からはJ3平村恵人さんが出場。最優秀賞を受賞しました。競技会を終えた平村さんは、競技中の心境などを聞くと、「県大会と比べ、周りのレベルが上がり、みんなに競技などを聞かれていました。これまでの自己実現感が高まっています。」と振り返りました。

浦添工業学校で行われた家具工芸部門。本校からはJ3岩田進吾さんが出場。最優秀賞を受賞しました。秀昭先生は、「最初は順調でしたが、最後には少しおかめになってしまった」と話しかけていました。顧問である山口先生は、「最初は緊張感で自分自身を大きく出しきついた」と述べています。

浦添工業学校で行われた電気工事部門。本校からはE3岩永歩さんが出場。結果は、惜しくも受賞できませんでした。岩永歩さんは、「自分のサポートもありました。目標達成のために一生懸命努力してきました。しかし、後半に追いついたときに、自分の技術が他の選手よりも差があったことを痛感しました。それでも、何とか勝つことができました。」と振り返りました。

岩永歩さんは、「最初は緊張感で自分自身を大きく出しきついた」と述べています。顧問である山口先生は、「最初は緊張感で自分自身を大きく出しきついた」と述べています。しかし、後半に追いついたときに、自分の技術が他の選手よりも差があったことを痛感しました。それでも、何とか勝つことができました。岩永歩さんは、「最初は緊張感で自分自身を大きく出しきついた」と述べています。

岩永歩さんは、「最初は緊張感で自分自身を大きく出しきついた」と述べています。しかし、後半に追いついたときに、自分の技術が他の選手よりも差があったことを痛感しました。それでも、何とか勝つことができました。岩永歩さんは、「最初は緊張感で自分自身を大きく出しきついた」と述べています。

高校生ものづくりコンテスト九州大会

三部門にて最優秀賞受賞

**最優秀賞
レベルUP
電子回路組立**

七月六日、七日の二日間、「高校生ものづくりコンテスト九州大会」が沖縄県で開催されました。本校からは四名の選手が出場し、三部門で最優秀賞を受賞。二部門が全国大会への出場権を獲得しました。

浦添工業学校で行われた電子回路組立部門。本校からはJ3平村恵人さんが出場。最優秀賞を受賞しました。競技会を終えた平村さんは、競技中の心境などを聞くと、「県大会と比べ、周りのレベルが上がり、みんなに競技などを聞かれていました。これまでの自己実現感が高まっています。」と振り返りました。

浦添工業学校で行われた家具工芸部門。本校からはJ3岩田進吾さんが出場。最優秀賞を受賞しました。秀昭先生は、「最初は順調でしたが、最後には少しおかめになってしまった」と話しかけていました。顧問である山口先生は、「最初は緊張感で自分自身を大きく出しきついた」と述べています。

浦添工業学校で行われた電気工事部門。本校からはE3岩永歩さんが出場。結果は、惜しくも受賞できませんでした。岩永歩さんは、「自分のサポートもありました。目標達成のために一生懸命努力してきました。しかし、後半に追いついたときに、自分の技術が他の選手よりも差があったことを痛感しました。それでも、何とか勝つことができました。」と振り返りました。

岩永歩さんは、「最初は緊張感で自分自身を大きく出しきついた」と述べています。顧問である山口先生は、「最初は緊張感で自分自身を大きく出しきついた」と述べています。しかし、後半に追いついたときに、自分の技術が他の選手よりも差があったことを痛感しました。それでも、何とか勝つことができました。岩永歩さんは、「最初は緊張感で自分自身を大きく出しきついた」と述べています。

高校生ものづくりコンテスト九州大会

三部門にて最優秀賞受賞

**最優秀賞
レベルUP
電子回路組立**

七月六日、七日の二日間、「高校生ものづくりコンテスト九州大会」が沖縄県で開催されました。本校からは四名の選手が出場し、三部門で最優秀賞を受賞。二部門が全国大会への出場権を獲得しました。

浦添工業学校で行われた電子回路組立部門。本校からはJ3平村恵人さんが出場。最優秀賞を受賞しました。競技会を終えた平村さんは、競技中の心境などを聞くと、「県大会と比べ、周りのレベルが上がり、みんなに競技などを聞かれていました。これまでの自己実現感が高まっています。」と振り返りました。

浦添工業学校で行われた家具工芸部門。本校からはJ3岩田進吾さんが出場。最優秀賞を受賞しました。秀昭先生は、「最初は順調でしたが、最後には少しおかめになってしまった」と話しかけていました。顧問である山口先生は、「最初は緊張感で自分自身を大きく出しきついた」と述べています。

浦添工業学校で行われた電気工事部門。本校からはE3岩永歩さんが出場。結果は、惜しくも受賞できませんでした。岩永歩さんは、「自分のサポートもありました。目標達成のために一生懸命努力してきました。しかし、後半に追いついたときに、自分の技術が他の選手よりも差があったことを痛感しました。それでも、何とか勝つことができました。」と振り返りました。

岩永歩さんは、「最初は緊張感で自分自身を大きく出しきついた」と述べています。顧問である山口先生は、「最初は緊張感で自分自身を大きく出しきついた」と述べています。しかし、後半に追いついたときに、自分の技術が他の選手よりも差があったことを痛感しました。それでも、何とか勝つことができました。岩永歩さんは、「最初は緊張感で自分自身を大きく出しきついた」と述べています。



▶ P3末吉陸斗さん



自動車整備部門でP3末吉陸斗さん、M3高崎海音さん、E3岩永歩さんによる作業を心掛けています。彼らは各自の得意とする分野で積極的に練習を重ね、日々成長している姿が印象的でした。

末吉さんは「練習のときは、自分たちで自分たちで問題解決のプロセスを経験してきました。それが今でも重要なスキルとして残っている」と述べています。また、M3高崎海音さんは「自分たちが自分で問題解決できる力が身についてきた」と話す一方で、「まだまだ未熟な部分があります」と坦言。一方で、E3岩永歩さんは「自分が何をするか、何をやるべきかが明確になってきた」と自信を持って語っています。

自動車整備部門では、日々の授業や実習を通じて、実践的な技術を学ぶだけでなく、コミュニケーション能力や問題解決力を鍛錠するための活動も実施されています。P3末吉陸斗さんは「チームワークの大切さを学び、協力して問題を解決する方法を身につけています」と語っています。

E3岩永歩さんは「実習を通じて、自分たちの得意分野と弱い分野を見つけることができました。それを克服するためには、自分たちで解決策を考え、実行していくことが重要だと実感しています」と語っています。

M3高崎海音さんは「自分たちが何ができるか、何ができないかを自分たちで判断できるようになります。それは、自分たちの技術力向上につながります」と語っています。

このように、自動車整備部門では、実践的な技術を身につけるだけでなく、コミュニケーション能力や問題解決力を鍛錠するための取り組みがなされています。P3末吉陸斗さんは「自分たちが何をするか、何をやるべきかが明確になってきた」と自信を持って語っています。一方で、M3高崎海音さんは「自分が何をするか、何をやるべきかが明確になってきた」と自信を持って語っています。一方で、E3岩永歩さんは「自分が何をするか、何をやるべきかが明確になってきた」と自信を持って語っています。

自動車整備部門でP3末吉陸斗さん、M3高崎海音さん、E3岩永歩さんによる作業を心掛けています。彼らは各自の得意とする分野で積極的に練習を重ね、日々成長している姿が印象的でした。

末吉さんは「練習のときは、自分たちで自分たちで問題解決のプロセスを経験してきました。それが今でも重要なスキルとして残っている」と述べています。また、M3高崎海音さんは「自分たちが自分で問題解決できる力が身についてきた」と話す一方で、「まだ未熟な部分があります」と坦言。一方で、E3岩永歩さんは「自分が何をするか、何をやるべきかが明確になってきた」と自信を持って語っています。

自動車整備部門では、日々の授業や実習を通じて、実践的な技術を学ぶだけでなく、コミュニケーション能力や問題解決力を鍛錠するための活動も実施されています。P3末吉陸斗さんは「チームワークの大切さを学び、協力して問題を解決する方法を身につけています」と語っています。

E3岩永歩さんは「実習を通じて、自分たちが何ができるか、何ができないかを自分たちで判断できるようになります。それは、自分たちの技術力向上につながります」と語っています。

M3高崎海音さんは「自分たちが何をするか、何をやるべきかが明確になってきた」と自信を持って語っています。

このように、自動車整備部門では、実践的な技術を身につけるだけでなく、コミュニケーション能力や問題解決力を鍛錠するための取り組みがなされています。P3末吉陸斗さんは「自分たちが何をするか、何をやるべきかが明確になってきた」と自信を持って語っています。一方で、M3高崎海音さんは「自分が何をするか、何をやるべきかが明確になってきた」と自信を持って語っています。一方で、E3岩永歩さんは「自分が何をするか、何をやるべきかが明確になってきた」と自信を持って語っています。

このように、自動車整備部門では、実践的な技術を身につけるだけでなく、コミュニケーション能力や問題解決力を鍛錠するための取り組みがなされています。P3末吉陸斗さんは「自分たちが何をするか、何をやるべきかが明確になってきた」と自信を持って語っています。一方で、M3高崎海音さんは「自分が何をするか、何をやるべきかが明確になってきた」と自信を持って語っています。一方で、E3岩永歩さんは「自分が何をするか、何をやるべきかが明確になってきた」と自信を持って語っています。